

**取組 2 基本的な生活・学習習慣の定着**

**現状**

子どもが望ましい生活習慣を身に付けることは、健やかな成長にとって重要なことであり、学校においても「あいさつ運動」や「早寝・早起き・朝ごはん」運動などに取り組んでいます。

また、学習習慣の定着は基礎学力の習得を図るために不可欠であり、学校では宿題を出すなどして学習習慣が身に付くように工夫しています。

平成20年度全国学力・学習状況調査の結果では、子どもの基本的な生活・学習習慣の定着と正答率には一定の相関関係があるとしています。

本県では、当たり前だけどとても大切な50のルールをまとめた「ぐんまの子どものための50のルール」を作成し、平成17年度から児童に配布して家庭での基本的な生活・学習習慣の定着を支援しています。

なお、「群馬県の教育に関する県民アンケート」(平成20年)では、52.4%の県民が家庭でのしつけやコミュニケーション不足を指摘しています。

平成20年度全国学力・学習状況調査(文部科学省)

**生活習慣**

(就寝時間)

- ・ 普段(月～金曜日)の就寝時間  
午後11時より前に就寝

(起床時間)

- ・ 普段(月～金曜日)の起床時間  
午前7時より前に起床

(朝食)

- ・ 朝食を毎日食べている

(読書)

- ・ 1日当たり、30分以上読書している  
月～金曜日、家や図書館

(インターネット)

- ・ 1日当たり、1時間以上インターネットをしている  
月～金曜日

(携帯電話)

- ・ 携帯電話の利用状況  
(ほぼ毎日している+時々している)

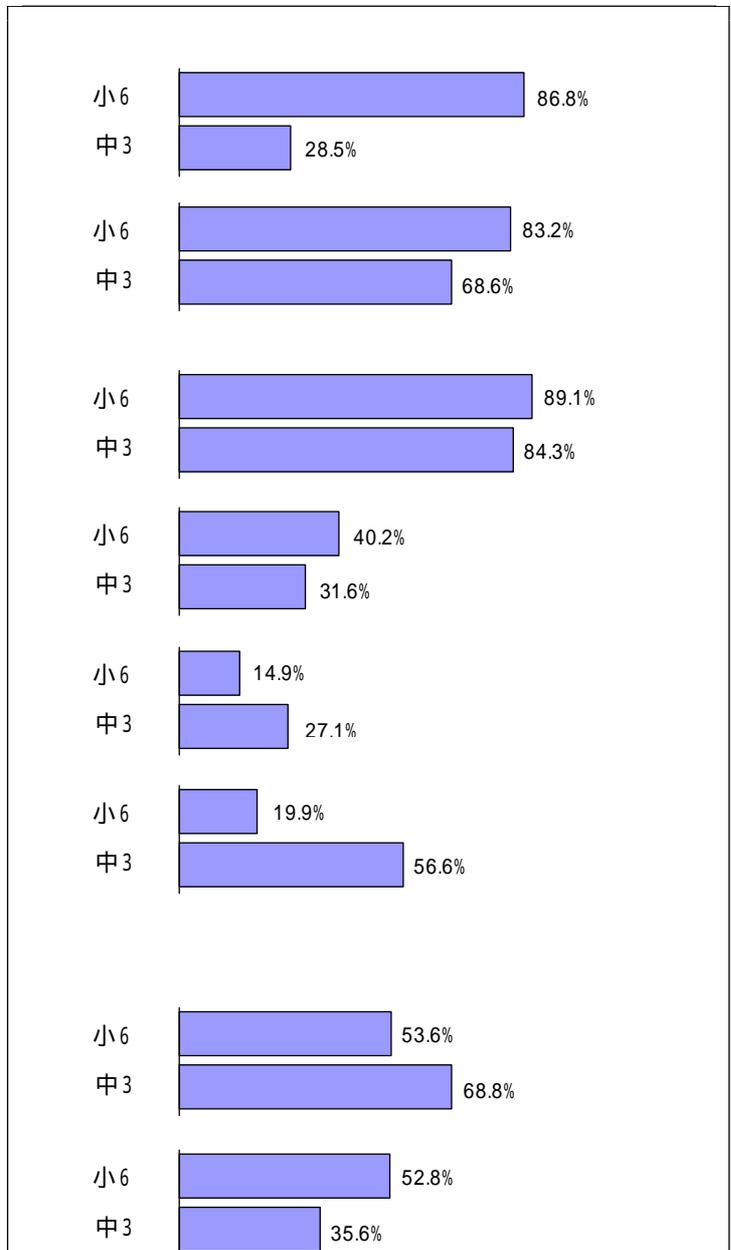
**学習習慣**

(学習時間)

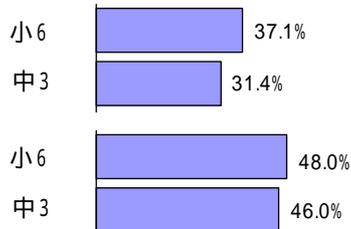
- ・ 1日当たり、1時間以上勉強している  
月～金曜日、学校の授業時間以外

(学習の計画)

- ・ 家で自分で計画を立てて勉強している  
(している+どちらかといえば、している)



(授業の予習)  
 ・家で学校の授業の予習をしている  
 (している+どちらかといえば、している)



(授業の復習)  
 ・家で学校の授業の復習をしている  
 (している+どちらかといえば、している)



### 課題

- ・学校の授業の予習・復習が習慣化している児童生徒の割合を高めること
- ・自宅で計画的に学習している児童生徒の割合を高めること

### 取組の方向

- ・「全国学力・学習状況調査」等を活用し、基本的な生活習慣・学習習慣の状況を把握します。
- ・ルールブックを活用し、児童生徒への生活指導・学習指導や保護者への家庭教育支援を行います。

### 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
・「ぐんまの子どものための50のルール」の配布・普及啓発 「ぐんまの子どものための50のルール」の配布や講演会の開催などを通して、家庭での基本的な生活・学習習慣の定着を支援します。	(教)総務課 生涯学習課 総合教育センター
・「ぐんまの子どもにすすめたい本200選」の活用促進 子どもに読んで欲しい本を200冊選定・紹介することで、子どもが本に対して興味を持つきっかけをつくります。	義務教育課

### 達成目標

目標の概要	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
・朝食を毎日食べている児童生徒の割合 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	(小6) 89.1% (中3) 84.3%	100%
・1日当たり、30分以上の読書をしている 児童生徒の割合(月～金曜日、家庭・図書館) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	(小6) 30分以上 40.2% (中3) 30分以上 31.6%	(小6) 30分以上 50% (中3) 30分以上 40%
・1日当たりの学習時間 (月～金曜日、学校の授業時間以外) 全国学力・学習状況調査(文部科学省)	(小6) 1時間以上 53.6% (中3) 2時間以上 37.1%	(小6) 1時間以上 60% (中3) 2時間以上 50%

### トピックス

ぐんまの子どものための50のルール  
 思いやりや公共心をはじめ、子どもに身につけてもらいたい、当たり前だけれど、とても大切なルールを県民の方々から募集して選定しました。



早寝早起きをしよう



朝食をしっかりとう